

研究機関：広島大学

研究課題名	肝腫瘍に対する局所治療の疫学研究
研究責任者名	広島大学医歯薬保健学研究科消化器・代謝内科学 教授 茶山 一彰
研究期間	2017年6月2日(倫理委員会承認後)～ 2031年12月
対象者	2001年1月から2030年12月の間に、当院消化器代謝内科を受診し、肝腫瘍に対し局所治療を行った成人患者さん。
意義・目的	肝臓に対する局所療法には、RFA（ラジオ波焼灼療法）、PEIT（経皮的エタノール注入療法）、PMCT（経皮的マイクロ波凝固療法）といったものがあります。手術と比較して、巨大な病変のコントロールは困難ですが、低侵襲であり、肝予備能低下例にも行えるという利点があります。個数、大きさ、局在、肝予備能など、個々の症例に応じて適応の有無や使用デバイスの選択など検討すべき項目があり、今後より良い治療を目指していくためには経験した症例の記録を蓄積していくことが不可欠です。本研究は、当科で局所治療を行った症例のデータを検討することで、よりの確な治療を目指すためのものです。
方法	本研究は、過去の通常診療時の診療録(カルテ)情報を調査して行います。カルテから使用する内容は、年齢、身長、体重、性別、BMI、血圧、肝生検関連事項、肝組織所見、飲酒歴、家族歴、既往歴、転帰、生存期間、無再発生存期間、再発の有無、併用治療、腫瘍情報、HCV 関連項目、HBV 関連項目、血液検査、凝固・線溶検査、尿検査、局所治療の情報（使用デバイス、処置時間、合併症など）です（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学 教授 茶山一彰
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel：082-257-5191 研究責任者：広島大学医歯薬保健学研究科消化器・代謝内科学 教授 茶山 一彰 研究担当者：広島大学医歯薬保健学研究科消化器・代謝内科学 大学院生 盛生 慶